

# 代理店経営情報

シンニチ  
代理店版

代理店の拡大のため、必死で働きながら、未来に漠然とした不安を抱えている。このような代理店が年々増えているように感じています。このままでは、「あっとい間に時間だけが過ぎ、数年たつて変化したのは、歳を重ねたこと、保険会社からの要望が厳しくなっただけ…」という未来を迎えかねません。そこで今回は、事業が拡大できない隠れた理由である「悪口・陰口の蔓延」する職場について、一緒に考えてみたいと思います。

## 「悪口・陰口は蜜の味？」 組織拡大を阻む厄介な現象

悪口・陰口が  
蔓延する

先日、ある代理店経営者から相談をされました。

「新しい社員を雇っても、すぐに辞めてしまいます。先輩社員が会社や社員の悪口を言うことで、やる気を失ってしま

うようです…。どうすればいいのでしょうか」  
このような状況に頭を悩ませている経営者は意外にも多いのです。ネガティブな言動ほど組織内で蔓延するのが早く、経営者が気づいた頃には時すでに遅し、なんてことも珍しくありません。

社員が前向きにならない、組織が一つにまとまれない」という課題の隠れた原因が、「悪口・陰

口の蔓延」だったのです。

悪口・陰口の  
原因は？

経営者は、こうした経験をすることで、社員が信用できなくなったり、落胆したりする気持ちになり、さらに社員との距離が開いてしまいます。しかし、まずは「なぜ、悪口を言うのか」という

原因を抑えることが大切です。

数多くの企業を見てきた中で、このような現象

### 組織を蝕む現象

### 陰口・悪口の蔓延



### 快樂ホルモンが原因

には大きく二つの原因があるように思います。一つ目は、「社員とのコミュニケーション不足」です。完璧に環境が整っている中小企業はありませんが、「もっとうるさければいいのに」と思うことも少なからずあるでしょう。

悪口・陰口が  
蔓延する原因は？

その時、経営者と対話する環境があれば、「悪口・陰口」になる前に消化されます。一方で、そういう機会が無い場合、感情の消化不良を起し、「悪口・陰口」になってしまいます。

原因は  
快樂ホルモン？

二つ目の原因は、「悪口・陰口の中毒になっていく」です。悪口を言っている時には、快樂を感じるホルモンが出て楽しい気分になれることが医学的に証明されています。恐ろしいのは、このホルモンには、依存性があるということです。つまり、悪口を言う快樂に「依存」してしまうのです。

もし、あなたの会社が、「悪口や陰口をいうこと」でしか、楽しい気分を得られない状態になっていたら…。そのようなストレス発散の方法を身につけている社員が多いとしたら…。こんなに悲しいことはありません。

社長が3か月不在でも  
持続成長する代理店を目指す！

誰も教えなかった！124

## 保険代理店が「家業」から「企業」になる方法

シリーズ3

株式会社ブレインマークス

代表取締役 安東 邦彦



【プロフィール】

保険代理店が持続的に成長するための組織化、経営の仕組みづくりを支援するコンサルタント。  
著書：『社長が3ヶ月不在でも成長する会社のつくり方』  
運営組織：プロ代理店経営アカデミー

<https://www.brain-marks.com>